

らくのへ 議会だより



六戸町議会
ホームページ
QRコード

草ぶえの音色

どんな音

6月20日、六戸小学校4年生30名は郊外学習で館野公園のさつき沼ビオトープを散策しました。子どもたちは、身近な公園に多くの貴重な動植物がいることを知り、館野公園の新たな魅力を感じとりました。

写真は、案内をしてくれた六戸高校の先生から草笛の吹き方を教えてもらっている様子です。

【6月定例会で決まったこと】 補正予算ほか15件を可決	2
【一般質問】 学校教育、診療所の経営について	3～5
【意見交換会ほか】 議会のこと知っていますか 議会傍聴ほか	6～7

プレミアム率50%の 商品券 年2回 発行



6月定例会が6月3日から7日までの5日間の会期で開かれました。専決処分報告や条例の一部改正、令和4年度補正予算など、15件の案件が町長から提出されました。審議した結果、議員全員賛成で原案どおり可決されました。

一般質問は3議員が登壇。新設する町立小・中学校の計画や町内小・中学校のICT授業などの学校教育関係、診療所の経営について町の考えを問いました。（一般質問の内容は、3ページから5ページに掲載しています）なお、主な審議等は次の通りです。

補正予算

◆一般会計に1287万円増額

令和4年度一般会計補正予算は、歳入歳出に1287万円を増額し、総額が61億3787万円となりました。うち、補正の主な内容は次のとおりです。

- ▽議会タブレット導入に係る経費 (57万円)
- ▽スマート農業支援事業 (1千万円)
- ▽小松ヶ丘地区の公園に遊具設置の経費 (503万円)
- ▽プレミアム商品券発行支援事業 (3750万円)

▽コロナワクチン接種等に係る経費 (1419万円)



ワクチン接種のイメージ写真

質疑

プレミアム商品券

町 下田敏美議員

今回のプレミアム商品券の発行の内容は

高橋まちづくり推進課長

発行枚数は3千冊、時

損害賠償を報告

期はお盆と年末を予定しています。今回も返還率50%を上乘せし、1万5千円分の商品券を1万円で購入することができません。

令和4年1月4日、六戸町大字犬落瀬字千刈田谷地1番地付近を走行中の除雪車を避けようとした自家用車が、雪の壁に衝突したことにより車両を損傷させた事故の示談が成立し、約18万円の賠償をしたことの報告がありました。損害賠償の額は、その全額が全国自治協会自動車損害保険より支払われています。

発議

2件の意見書を可決し、関係大臣へ送付しました。

◆事業所トイレの女性トイレ維持を求める

令和3年12月1日施行の労働安全衛生規則等の改正により、事業所トイレの男性用と女性用に分ける大原則は維持しつつ、同時に働く労働者が常時10人以下であれば共用1個でよいとされました。この動きは、公的な建物内、公衆便所や大規模小売店舗等の不特定多数が使うトイレにおいても、独立個室型のトイレで足りる設計を助長し、男女共用型のトイレで足りるとする傾向を成立・加速させる可能性があります。

そのため、事業所トイレにおける大原則である「男性用と女性用に区別して設ける」を今後も崩さず、女性トイレを維持し、女性の安心安全という権利法益を守るべく労働安全衛生規則の改正施行に関し、女性トイレの維持及びその安心安全の確保のために意見書を提出しました。

◆国民の祝日「海の日」を7月20日への固定化を求める

国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として平成7年に策定され、平成8年7月20日から施行されていますが、平成15年以降、ハッピーマンデー化により、7月の第3月曜日となっています。

我が国と海との歴史的、文化のおよび経済・社会的な関わりや海の日制定の歴史的経緯等を踏まえ、国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全及び環境保全について思いを馳せる機会とするためにも、「海の日」を7月20日に固定化する意見書を提出しました。

新設される小中一貫校の

学校配置計画は

安らぎや温もりのある施設にしたいー教育長

問 学校建設予定地は
館野公園や森林に囲まれているので、「森の中の学び舎」を標榜するような校舎建築にできないか

教育長 木材を活用した学校施設造りを目指しており、近隣の自然環境に溶け込み、安らぎや温もりのある施設にしたいと考えています。また、六戸高校が中心になって活動しているピオ

トップ事業を新しい学校の教育課程に取り入れ、児童生徒が生きた自然に触れられる教育の場として継続して取り組んでいきたいと考えています。

問 スポーツや部活動を役割を果たしていると考えられる。子どもの才能を伸ばしてあげられるよう、夢のあるスポーツ活動の機会を子どもたちに与えては

スポーツや部活動を行う場として、子どもたちの夢のあるスポーツ活動の機会を子どもたちに与えては

教育長 スポーツを行う施設、設備といった環境面と併行して、指導者などの人材の確保も重要となっていくため、今後は設備だけではなく、人材の確保についても検討を重ねていきたいと思っています。

問 各部活動の練習場所の確保は

教育長 基本的に学校の施設やグラウンドの活用を想定しているが、場合によっては総合運動公園等の施設活用も考えられます。

問 人口減少を予想して*六戸町立小・中学校適正化基本計画の学校配置計画を立てたのか

教育長 日本全国の実態からみて、少子化が進むと見込んで計画を立てています。

問 子どもたちにとって使いやすい学校にして欲しい。町長の思いは

町長 位置的な問題、児童生徒の減少、これらを総合的に判断し、六戸が今進めている義務教育一貫校は、将来的に一番適した形になっていくと思う。六戸に縁あって住んでいる方々が学び、みんなで協力し合って歩んでいく。その場所が今考えている教育施設、校舎であれば幸いだと思

います。

※ 「六戸町立小・中学校適正化基本計画」とは…
令和7年4月に町立小・中学校を一つにした義務教育学校を県立六戸高等学校跡地に開校します。この基本計画は義務教育学校の開校に向け、学校経営・学校運営、条例・規則等の改正及び施設整備等における整備内容とそのスケジュールを定めたもの。



新設される小中一貫校の外観イメージと建設予定地



しもだ とし み 議員
下田 敏美

一般質問

第2回定例会は、3人の議員から一般質問がありました。紙面の都合上、各議員の質問事項とその答弁を要約して掲載しています。



すぎやま しげお 議員
杉山 茂夫

小中学校の

ICT活用の授業は

iPadを配備し授業等に活用

— 教育長



教育現場で活用されるiPad
(7月1日六戸小学校)

問 ※1 GIGAスクール構想の児童生徒1人1台端末整備で、※2 ICTを活用した授業の実施状況は

教育長

当町は昨年5月に全児童生徒、教職員にiPadを1人1台配備して児童生徒の発達段階に応じ、各教科の授業や特別活動等で積極的に活用しています。具体的には、インターネットでの調べ学習や写真とコメント付きのプレゼンテーション、教師と児童生徒同士が情報共有し学習するアプリを活用し

た意見交換、生徒総会での資料閲覧や議案の採択などです。しかし教職員のICT活用習熟度の課題もあり、随時研修会を実施して対応しています。

問 家庭でのWiFi環境の実態とポケットWiFiの貸出し状況は

教育長

国の補助事業でポケットWiFiを87台購入しました。現時点で新型コロナウイルス感染症による臨時休校や学級閉鎖等に伴うリモート授業は行っていないですが、今年度2学期に試験的にICT端末を各家庭に持ち帰らせ、WiFi環境の状況を調査、確認した上で本格実施を予定しています。

※1 「GIGAスクール構想」とは：2019年に開始された文部科学省の取り組みで、児童生徒1人に1台の学習用端末と、高速ネットワークを整備する計画。
※2 「ICT」とは：情報通信技術。

廃校施設とコミュニティバスは

検討委員会で廃校後の利活用を検討。 町民バスとスクールバスを一本化 — 教育長

問 既存の小・中学校廃止後の利活用は

教育長

六戸町立小・中学校最適化基本計画には、既存の小中学校が廃止された後の学校施設の活用について公民館や防災倉庫などへの

利用変更と解体、分譲も含めた利活用案を記載しています。これは、基本計画策定時の案であり、今後、六戸町公有財産取得処分等検討委員会においてサテライト・オフィスや屋外スポーツ等の屋内運動場を含め、効果的、効率的な利活用を検討していきます。

を一本化してコミュニティバスとし、学校と役場を拠点とした方面ごとのダイヤ編成を行い、小学校のなかよし会や中学校の部活動にも配慮したダイヤ編成を検討したいと考えています。

問 義務教育学校内の町立図書館とメディアルームの管理者は

教育長

町立施設の設置者は町長であり、管理者は基本的に町職員となりますが、学校については校長に管理を委任しています。新設の義務教育学校の図書館及びメディアルームは、児童生徒と一般の方々が共用する施設で町職員が管理者となります。

問 学校統合後の巡回型コミュニティバスの運行とは

教育長

現在、町民バスは役場を中心に各方面6系統の路線及びダイヤで運行しています。また各校のスクールバスは、町民バスとは別の路線及びダイヤを編成し運行しています。学校再編後は、多くの児童生徒がスクールバスで通学するため、現在のスクールバスの路線と運行ダイヤを大幅に改正する必要があります。そのため、町民バスとスクールバス





まつ はし かす お
松橋 一男 議員

町単独で給食センターを設置しては

設立の経緯から難しいー町長

問 学校給食センターがあるので、町独自の取り組みがしにくいと考えられるが、町単独で給食センターを建設することは出来ないか

センター設立の経緯を考えると、簡単にはいかないと考えます。

町長 学校を新たに建設することを考えると、給食の自校方式にすることも可能だとは思いますが。六戸町の食材をどう活用するかなど、アイデアを入れて応用は利くと思う。ただ、給食セ

問 食料品の値上がり
食への影響はないか

教育長 食材の調達方法を工夫し、出来るだけ安価な食材を仕入れたり献立を工夫したりして、給食費を値上げせず給食の質を維持しています。今後、食料品価格が大幅に高騰した場合

には、保護者の負担を抑えた上で給食の質を維持するよう十和田市と協議していきます。

問 地産地消のために、六戸産の食材を給食に利用して欲しい。そのような取り組みは難しいのか

教育長 短期間での取り組みは可能かもしれないが、長期的には六戸産の食材の安定供給の面から難しいと思う。

問 学校給食で使用する容器では、給食が美味しく感じられないのではないかと思う。義務教育学校の開校に向け、器を変えることは可能か

教育長 当町だけの考えで実施するわけにはいかない。十和田市と協議していくこととなります。

診療所の経営健全化の取り組みは

コロナ禍で中断。今後は県の再編構想等を踏まえて取り組むー町長

問 診療所の経営を圧迫しているのは、病院が診療所へ替わった際に、経営規模は縮小したが、職員数の見直しをしなかったためでは

町長 公務員の場合は、規模が縮小したので人員を変更するというわけには簡単にはいきません。以前、診療所にアドバイザーを入れ経営を検討し、県の再編に関する構想等の趣旨も理解し相談してきました。そこにコロナが発生し、中断しているところです。今後コロナが終息したら、皆様からご意見をいただき診療所の在り方を固めていきたいと思っています。

問 医師確保が病院経営の最重要課題だと思いが、医師確保のために六戸町に住んでみたいと思わせるような環境を作る考えはあるか

町長 当町だけに限らず青森県内は医師が不足しています。コロナが落ち着いた段階で町として、周辺と協議、相談をしていきたいと思っています。



経営改善が求められる診療所



サイコロを振り、サイコロに書かれているテーマについて話し合う議員と生徒たち

ギカイ
12人

×

六戸
高校生
28人

議会のこと知っていますか

六戸町議会は、5月27日六戸高等学校で28人の生徒たちと意見交換を行いました。この意見交換会は、議会の役割や町議会議員の仕事を知ってもらい、町の事業や課題などを探ることが目的として行われました。

六戸町議会の活動の紹介の後に、議員12人と生徒28人は6班に分かれて、グループごとにサイコロを振り、サイコロに書かれているテーマに沿って意見交換を行いました。

初めは緊張していた生徒たちでしたが、意見交換が進むにつれ笑顔も見られ、終始和やかな雰囲気で行われました。



議員の話にも熱が入る



笑顔をのぞかせながら、和やかな雰囲気



真剣な眼差しで話を聴いていた



突然のインタビューに冷や汗



広報委員の
ちょっと
ひと休み



ワクチン接種は
お済みですか

6月の末になっても、新型コロナウイルスの終息が見えてこないこの頃であります。青森ねぶた、弘前ねぶた、立佞武多など各地で3年ぶりの祭りの開催が決まりました。

六戸秋祭りも規模を縮小して行うと聞いております。行動範囲が広がり、新型コロナウイルスの感染率が増えることが大変心配されます。7月中旬から60歳以上と18歳以上の持病のある方へ4回目のワクチン接種が始まります。安心して祭りに参加し、見物するためにもワクチン接種を積極的に受けましょう。

(長根一男)



六戸
高校生
37人
×
一般
質問



傍聴席と会議室の2グループに別れて一般質問を傍聴

高校生 議会を傍聴

6月7日に六戸高等学校の生徒37人が一般質問を傍聴してきました。傍聴席では一般質問が行われている様子を真剣に聞き入る姿が見受けられました。

議会傍聴については、良かったという意見や、議会の熱意が伝わってきた。難しい言葉が多かった、聞きにくかったという意見がありました。

今回の活動で高校生たちに議会や選挙についての関心、地域課題に対する意識が芽生えるきっかけになって欲しいと考えています。



傍聴席からの様子



答弁に集中して耳を傾ける

議会を傍聴してみませんか？



これからの町のことを話し合う場、それが議場です。どんなことを審議するのか傍聴してみませんか。次は9月に定例会があります。

☎ 議会事務局 ☎55-4547

地元自治の進展に貢献

青森県町村議会議長会第72回定期総会が2月28日に開かれ、地方自治の進展に大きな役割を果たした町村議会議員に対して表彰が行われました。

町村議会議員として19年以上在職し、地方自治に功績があった者として山本実議員が県町村議会議長会から表彰を受けました。



山本 実議員
(19年以上表彰)

表彰を受け取る山本議員☎



有馬 工藤

大和 温葵

さん(左) さん(右)

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、6月定例会の
一般質問を傍聴した六
戸高校の生徒さんです。

■プロフィール…有馬さんは2005年生まれ、小松ヶ丘在住。七百中学校出身。中高と陸上部に所属。六戸高校の生徒会長。

工藤さんは2004年生まれ、川原新田在住。六戸中学校出身。中学では陸上部に所属。高校ではJRC（青少年赤十字）に所属。

議会議場

工藤君 町の中心となつて大事なことを決めていくというイメージ。でも、まだ高校生なので、町全体のことを決めていくとなると、具体的にイメージすることが出来なかつたのですが、意見交換会で話を聞いてから実際にやっていることを学べるということが出来たので良かったです。

議員のイメージ

工藤君 頭が良くて、み

有馬君 話し合いをする場所だとは思っていましたが、内容が難しく理解できないものかと思っていました。でも、初めて傍聴してみても、六高の跡地の話や、町のスポーツのこと、子どものためにこうしたいほうがいいとか聞いて、難しい話というよりは、自分達の身近なことについて話をしていると感じました。

んなのことを考えてくれている人たちが、集まっていると思っています。なかなか自分からなる人はいないと思うけど、その中で自分から選挙に出て、選ばれて、やっぱり凄いなたちだと思えます。

有馬君 難しい話をしていくイメージなので、自分たちからはちょっと遠い世界の人のかなと思っていました。

一般質問を傍聴して

工藤君 議場の中はピリピリした雰囲気を感じました。僕は人前で発表するとき、凄く緊張しますが、議員さん方は緊張感がある中で、事前準備した資料等を確認しながら自分が質問したいことについて、発言をしっかりと書いて、凄いなと感じました。

有馬君 ひとつの質問から何個もいろいろな質問を考えていて凄いなと感じました。自分が今ひとり

で質問しろと言われても無理かなと思いました。準備もたくさんしていたとは思いますが、多くの質問をしていて驚きました。

将来の夢は

工藤君 六戸高校に進学したのは、普通科で基礎の学力をつけて進路の幅をつけようと思ったからです。今は、将来ITエンジニアになりたいです。

有馬君 中学生時代に陸上競技をしていて、知り合いの先輩に「一緒に陸上をやらないか」と誘われて六戸高校に進学しました。卒業後は、専門学校に進学予定です。最終的には整骨院の先生になりたいと思っています。

編集後記

いよいよ12月に開催予定の、六戸高等学校3年生による、模擬議会に向けての準備がスタートしました。まずは、議会や議員を知ってもらうための意見交換会を行い、その後、6月定例会の一般質問を傍聴し、生の議会の雰囲気を経験してもらいました。

これから数回の準備の為に交流を経て、12月の本番では、代表の生徒が町の財政に対しての一般質問を行う予定です。これらの体験は、我々議員にとっては、将来を担う生徒たちが、今、行政に対して何を思い、考えているのかを知る事ができる、大変有意義な体験になると思います。

また、生徒たちには、高校生活の一つの思い出とともに、これから政治や選挙に興味を持っていただくと一歩になってもうれしな幸いです。

広報委員 種市正孝
議会広報委員会
委員長 盛田嘉彦
副委員長 松村重光
委員 杉山茂夫
委員 川根一夫

発行責任者 種市正孝
聞き手 盛田嘉彦
種市正孝

議長 川村重光